

## 地域安全学会「東日本大震災連続ワークショップ 2020 オンライン研究報告会」を開催・研究発表しました（2020/7/3）

テーマ：東日本大震災，災害科学  
場 所：オンライン

7月3日（金），地域安全学会「東日本大震災連続ワークショップ 2020 オンライン研究報告会」が開催されました（主催：地域安全学会，共催：東北大学災害科学国際研究所）。同学会では，東日本大震災を契機とした今後の復興と防災について議論を深めていくことを目的として，東日本大震災発生以降，通常の研究発表大会とは別に同ワークショップを開催しています。2012年は福島県いわき市，2013年は岩手県大船渡市，2014年は岩手県宮古市，2015年は宮城県気仙沼市，2016年は宮城県石巻市，2017年は岩手県釜石市，2018年は宮城県南三陸町，2019年は福島県南相馬市と，震災の被災地をめぐるしてきました。第9回目となる今回は，宮城県名取市で開催する予定でしたが，コロナ禍の影響で論文投稿者のうち，希望者によるオンライン研究報告会として簡易なかたちで開催されました。

18編の論文投稿があり，うち9編の口頭発表がなされました。当研究所の教員が主著・共著になっている論文は7編，うち4編の口頭発表が行われました（下記参照）。のべ63名が参加し，これまでで最も多くの参加があった会となりました。

村尾修教授（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）は，同学会長かつ東日本大震災特別研究委員長として，ワークショップの最後に挨拶を，佐藤翔輔准教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）は，本ワークショップの運営ホストとクロージングの進行をつとめました。

柳谷理紗，佐藤翔輔ら：自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立：仙台市役所職員による実践を踏まえて

★加藤春奈，村尾修ら：名取市閉上における復興後のコミュニティ形成の経緯と運営上の課題

★松川杏寧，佐藤翔輔ら：東日本大震災被災地の生活復興感パネル分析

—名取市現況調査4年分のデータをもとに—

★寅屋敷哲也，丸谷浩明：東日本大震災の地域の復旧・復興事業による水産加工業への影響

—気仙沼市の被災企業のヒアリング調査を基に—

佐藤翔輔：東日本大震災の被災地における震災語り部・被災地ガイドの年代・性別・空間分布

重川希志依，佐藤翔輔ら：みんなで伝えていかなきゃない—ゆりあげかめの活動と今後の展開—

★渡邊勇，佐藤翔輔，今村文彦：東日本大震災にみられた個々の教訓に対する理解度特性

—東北大学 MOOC 受講者を対象にした事例研究—

※著者名は，筆頭者と当研究所所属の教員（下線）のみ記載

★印は，口頭発表実施者



参加者の様子



学会長かつ東日本大震災特別研究委員長の挨拶（村尾修教授）